

施策目標 1 市民の暮らしと文化芸術とのつながりを深める

(1) 第 67 回 大和市文化祭一般公募展 (開始：昭和 30 年度)

【とき】令和元年 10 月 12 日～29 日 【会場】シリウス ギャラリー

市民が日頃の文化芸術活動を発表できる場を提供し、知識・技術の向上及び文化に対する意識の高揚を図るため、書・絵画・写真の一般公募展（応募・展示）を開催しました。

今年度は、ファミリー鑑賞デーや審査員講評会等のイベントをあわせて実施しました。

	応募数				来場者	備考
	書	絵画	写真	計		
R 元年度	119	108	95	322	3,553	シリウス3周年事業と重なり開催日程短縮
H30 年度	99	112	96	307	5,144	
H29 年度	97	109	97	303	5,080	



ファミリー鑑賞デー



審査員による講評会



表彰式

(2) 第 18 回 大和市民芸術祭 (開始：平成 14 年度)

【とき】令和元年 11 月 21 日～23 日 【会場】シリウス メインホール・ギャラリー

市民による実行委員会が毎年秋に企画している芸術の祭典で、ギャラリーで絵画や書の展示を、メインホールで和太鼓や阿波踊り等を披露しました。

【舞台の部】陸上自衛隊高等工科学校和太鼓部・中央林間一輪車クラブ・引地台中学校吹奏楽部等

【展示の部】大和華道協会・大和市書道連盟・大和美術協会・大和フォトクラブ等

	参加団体			来場者	備考
	舞台	展示	計		
R 元年度	7	6	13	2,158	
H30 年度	7	8	15	2,032	
H29 年度	8	5	13	2,004	



書道体験



ホワイエで呈茶



高校生の和太鼓

(3) さくら文芸祭(開始:平成18年度)

【とき】令和2年3月17日~3月22日 【会場】渋谷学習センターギャラリー・ホール
春の到来を告げる文化イベントとして、短歌・俳句・川柳の一般公募展と「朗読LIVE」を開催しました。

朗読LIVEでは、朗読わたげの会のほか、平成29年度文化芸術顕彰未来賞の萩原千代さんが出演されました。

	応募数				来場者数	備考
	短歌	俳句	川柳	計		
R元年度	35	82	44	161	—	
H30年度	45	76	50	171	977	
H29年度	118	90	46	254	916	



ギャラリー展示(昨年)



音楽会(昨年)



表彰式(昨年)

(4) 市民とつくる文化芸術事業(開始:平成29年度)

【とき】令和2年1月18日 【ところ】芸術文化ホール メインホール

大和出身のアーティストやプロのアーティストとともに、市民が、本格的な公演をつくりあげる事業を実施しています。

今年度は、歌手の森口博子さんを招き、平成30年度文化芸術顕彰未来賞の佐藤航さんと市内の高校生合唱チームが、「Message~明日を拓く」と題し、芸術文化ホールメインホールでスペシャルライブを開催しました。(来場者数:831人)



メインホール



森口さんと高校生の合唱



ホワイエの展示

(5) 生涯学習振興補助金の交付

市民の文化芸術活動を支援するため、生涯学習振興補助金を2団体に交付しました。

	交付団体	交付額	備考
R元年度	2	840,500	大和地区日中友好協会、ユース・ウインド・オーケストラ
H30年度	2	391,000	音楽フェスティバル実行委員会、大和市芸術文化振興会
H29年度	4	1,000,000	うたごえサロンやまと、県央女流作家協会、やまと子どもミュージカル、音楽家協会

施策目標2 地域の文化を大切に守り、次代につなぐ

(1) つる舞の里歴史資料館企画展「人生儀礼－昭和・平成の誕生・婚礼・葬送－」

【とき】令和元年10月24日(木)～12月8日(日) 【場所】つる舞の里歴史資料館

つる舞の里歴史資料館では、常設展示のほかに、毎年度テーマを変えて企画展示を開催しています。

今年度は、昭和から平成にかけて変化してきた習俗について振り返り、人生の節目に行われる儀礼(人生儀礼)のうち、誕生・婚礼・葬送に焦点をあてて紹介しました。

	来場者数	企画
R元年度	896	人生儀礼－昭和・平成の誕生・婚礼・葬送－
H30年度	901	維新・明治150年企画展 激動の幕末・維新时期を庶民はどう生きたか
H29年度	788	鳥・酉・禽・トリ(下鶴間ふるさと館においても開催)



展示



展示



つる舞の里歴史資料館

(2) 歴史関連施設の運営

郷土の生活文化を体感できる「郷土民家園」や歴史資料の展示などにより歴史への理解を深めることができる「つる舞の里歴史資料館」、旧矢倉沢往還の宿場の様子を知ることができる「下鶴間ふるさと館」などの施設を管理し、市民の歴史への関心を高める取り組みを進めています。

また、シリウス図書館内に地域資料コーナーを設け、つる舞の里歴史資料館の収蔵品の一部を展示しています。

(各施設来場者数)

	郷土民家園	つる舞の里	下鶴間ふるさと館
R元年度	—	—	—
H30年度	40,731	4,658	5,624
H29年度	44,111	4,390	5,942



郷土民家園



下鶴間ふるさと館



地域資料コーナー(図書館)

施策目標3 すべての子どもが文化芸術に親しめる環境をつくる

(1) 対話による美術鑑賞(開始:平成24年度)

文化芸術を通して子どもたちの観察力や思考力、コミュニケーション力を育てるため、「対話による美術鑑賞」を教育委員会と連携して実施しました。

市民ボランティアをガイドスタッフとして育成するための研修を実施し、市立小学校全19校の対話による美術鑑賞授業にガイドスタッフを派遣しました。

(小学校へのガイドスタッフの派遣校数)

	教室型	美術館型	合計	備考
R元年度	14	5	19	
H30年度	10	9	19	
H29年度	10	9	19	

【教室型】教室内で電子黒板に映した作品を見ながら鑑賞する

【美術館型】教室型授業の後に実際に美術館に足を運び、本物の美術作品を鑑賞する



教室型



美術館型



ガイドスタッフの研修

(2) やまと子ども伝統文化塾(開始:平成23年度)

大和市内の子どもたちを対象として、日本の伝統的な文化を体験できる10教室の開催を支援しました。教室は、市内の団体により組織された「大和市伝統文化伝承事業実行委員会」が運営しました。

各教室の子どもたちが発表する合同イベント「やまと伝統文化フェスティバル」を開催しました。

【教室の分野】茶道、華道、百人一首競技かるた、箏、尺八、日本舞踊、琵琶・吟舞、詩吟・書道

	伝統文化塾		フェスティバル	備考
	教室数	参加人数	来場者数	
R元年度	10	238	1,700	
H30年度	9	291	1,563	
H29年度	9	205	1,414	



日本舞踊



茶道



競技かるた

施策目標4 文化芸術の振興を牽引する担い手を育てる

(1) YAMATOイラストレーションデザインコンペ (開始：平成23年度)

イラストレーターを夢見る若者の発表活動をサポートするとともに、大和をイラスト溢れるまちに変えていくことを目的に、公募型のコンペを実施しました。「ぴあ」の表紙イラストを担当されていた及川正通氏（市内在住）に審査委員長をお願いしました。

入選作品の展示会の実施のほか、入賞者に大和市のイベントのポスターなどを制作するイラストレーターとして協力いただきました。

	テーマ	応募数	作品展 来場者数	活用 実績数	備考
R元年度	時	522	1,572	16	
H30年度	想	466	1,455	20	
H29年度	美	422	1,502	19	



審査会



入選作品展示会



表彰式

(2) 大和文化百花プロジェクトチームの活動 (開始：令和元年度)

計画策定段階から参画した若い世代の方々が、文化芸術活動を支える仕組みの整備や実現に向け、意見交換会や、ボランティアスタッフとして市のイベントに参画しました。

文化芸術振興の担い手となる「文化コーディネーター」や「運営ボランティア」として自立した活動ができるよう制度化・組織化を目指しています。

とき	活動内容	参加
令和元年 5月19日	【意見交換会】Instagramを活用した文化芸術情報の発信について	11人
9月29日	【意見交換会】文化祭一般公募展の企画について	11人
10月27日	【ボランティア】文化祭一般公募展にスタッフとして受付対応	3人
令和2年 1月18日	【ボランティア】市民とつくる文化芸術事業のスタッフとして受付対応	3人



意見交換会



文化祭



市民とつくる文化芸術事業

施策目標5 大和の文化芸術の魅力を内外にアピールする

(1) 大和市文化芸術顕彰(開始:平成21年度)

大和市文化芸術振興条例に基づき、毎年市内を中心に優れた創造活動を行っている芸術家や、大和の文化芸術の発展に貢献された人を対象に表彰しました。

受賞者を広報やまよホームページ等で紹介するほか、過去の受賞者に市のイベント(市民とつくる文化芸術事業やさくら文芸祭等)にご出演いただきました。

区分	概要	受賞者
文化芸術賞	文化芸術の分野における活躍が顕著	奥山 たか子 (日本画家)
		渡邊 ちよんと (水墨画家・イラストレーター)
文化芸術振興賞	市の文化芸術振興に長きにわたって貢献	大垣 鳳菜 (華道家)
文化芸術未来賞	未来の活躍に期待	三枝 晴太 (和太鼓奏者)



表彰式



表彰式



過去の受賞者活用

(2) やまとコミュニティ音楽館(開始:平成6年度)

市民に身近な場所であるコミュニティセンターと連携し、質の高い音楽を気軽に鑑賞ができる機会を提供するため、大和市音楽家協会の協力を得て、15会場で「やまとコミュニティ音楽館」を実施しました。

	実施館数	来場者数	1館あたり	備考
R元年度	15	—	—	
H30年度	16	1,437	89.8	
H29年度	15	1,215	81.0	



柳橋会館



桜ヶ丘会館



緑野会館

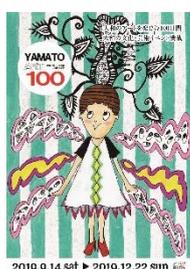
【参考】気軽に音楽にふれる機会として、シリウスのメインホールホワイエにおいて、定期的に音楽コンサートを無料で実施しているほか、病院や幼稚園等に出向いて演奏会を行う「お出かけコンサート」を実施しています。(芸術文化ホール指定管理者主催)

(3) YAMATO ART100 (開始：平成23年度)

YAMATO ART100は、秋の季節に文化芸術団体や行政などが開催するさまざまな文化芸術イベントをまとめた総称で、大和の文化芸術を広く発信し、文化芸術の力で、人とまちを元気にすることを目的としたプロジェクトです。

令和元年度は、9月14日(土)から12月22日(日)までの100日間を対象期間とし、多くの団体が力をあわせて、大和市全域で文化の秋、芸術の秋にふさわしいイベントを開催しました。

	参加団体数	事業数	来場者合計	備考
R元年度	64	107	93,366	
H30年度	62	102	100,908	
H29年度	62	103	55,949	天候不良による屋外イベント中止等



表紙



シリウスのページ



桜ヶ丘のページ

(4) 大和文化百花プロジェクト (開始：令和元年度)

魅力的な文化芸術に光をあて、表現、発信することで、市内外の人々に対し、「文化の薫るまち 健康都市やまと」を積極的にアピールすることを目的としたプロジェクトです。

文化芸術に関する情報サイトやSNSアプリ「Instagram」を活用した情報発信を積極的に行いました。

(5) やまと芸術文化ホールの運営 (開始：平成28年度)

市民の文化芸術活動の拠点となるやまと芸術文化ホールを指定管理者制度により、効果的かつ効率的に運用を進めました。開館以降、高い稼働率が継続しているほか、芸術文化ホールの価値を高めるため、指定管理者が様々な文化芸術事業を実施しました。

	ホール稼働率	来場者数	友の会 会員数	備考
R元年度	—	—	—	
H30年度	88%	255,465	4,970	
H29年度	87%	306,018	3,274	

施策目標6 多文化共生社会の実現を目指し、様々な文化に親しめる環境をつくる

(1) やまと世界料理の屋台村2019の開催(開始:平成22年度)

【とき】令和元年10月27日

【会場】やまと広場・図書館の道

食を通じて、市民に外国文化への興味を持ってもらうため、さまざまな国の料理を楽しむことができるやまと世界料理の屋台村を開催しました。

今年度は、ブラジル・トルコ・中国・メキシコなど、10か国の自慢の料理を振る舞う屋台が16店舗並びました。

	出展数	来場者	備考
R元年度	16	6,000	
H30年度	15	6,000	
H29年度	—	—	荒天中止



(2) 大和市文化芸術振興基本計画[第3期](概要版)の翻訳(2か国語)

外国籍の方にも広く大和市の文化芸術に関心を持ってもらうため、平成30年度に策定した第3期計画の概要版を英語とスペイン語に翻訳し、配布しました。